

# オウム真理教対策住民協議会ニュース

烏山地域  
オウム真理教対策  
住民協議会

## オウム真理教信者最後の逃亡犯、高橋克也について

高橋克也は2015年、東京地裁での無期懲役の判決を不服として東京高裁に控訴したが、高裁は一審判決を支持し控訴は棄却された。現在は最高裁に上告中だ。

高橋克也が関わった公証人役場事務長監禁致死事件や、地下鉄サリン事件などでは15人の死亡者が出ているが、

事件の計画に関わるとか、実行犯ではなく、運搬係や補佐役だった。オウム真理教への入信は1987年と早い。幹部信者のような目立つ存在ではなく、麻原彰晃の身辺警護や諜報省に属していた。そんな高橋克也が逃亡中も元教祖麻原彰晃への信仰心を捨てることなく、麻原説法のビデオテープや著書などを肌身離さず持ち歩くなど、異常とも言える麻原への執着心を持ち続けた。裁判では事件で死傷した被害者や被害者家



逮捕時の高橋克也(時事通信社)

族への償いや、反省の言葉を語ることはなく、被害者遺族らの反感を買った。一方高橋克也とは時期を同じくして逃走していた平田信や菊池直子は、逃亡中から信仰心を捨て去り、己の生きること

にこだわった。皮肉にも高橋克也は防犯カメラへの写り込みを避けるすべをかなり研究していたようだが、この防犯カメラが高橋克也逮捕に大きな役割を果たす結果となった。さらに他人の住民票で本人になりすまし、偽名を使い社員寮などで生活していたことも明らかとなっている。人が生活するにはそれなりの資金も必要だが、高橋克也は日雇や土木会社などで働き、一定の社会性も身につけて適応し、それ相応の生活をしてきた。そして逃亡初期に教団から渡されたとする資金も、かなりの額を残していたことも判明している。

近頃は主要な道路には防犯カメラが設置され、事件があると逃亡犯の顔や逃走経路が明らかとなり、そのことで警察の捜査手法も変わってきたと言われる。皮肉にも高橋克也は防犯カメラへの写り込みを避けるすべをかなり研究していたようだが、この防犯カメラが高橋克也逮捕に大きな役割を果たす結果となった。さらに他人の住民票で本人になりすまし、偽名を使い社員寮などで生活していたことも明らかとなっている。人が生活するにはそれなりの資金も必要だが、高橋克也は日雇や土木会社などで働き、一定の社会性も身につけて適応し、それ相応の生活をしてきた。そして逃亡初期に教団から渡されたとする資金も、かなりの額を残していたことも判明している。

地下鉄サリン事件などに関わった元信者の裁判の内容は、逃亡中でも新聞・テレビなどの報道で知り、高橋克也も罪の意識に悩んだことは想像できる。だが平田が最後は逃走をあきらめたのは対照的に、最後まで逃げ通した。この高橋克也と平田の違いを麻原への帰依心や教義への信仰心の強さ、捕まれば死刑との恐怖だけで片づけることは簡単だが、高橋克也には他の信者とは違う心の闇が感じられる。ここまで逃亡に執着したことを含め、高橋克也の内面を解明することで、オウム真理教という未解決の「宗教組織」の一端を明らかにすることに繋がるのではないかと。高橋克也に対する最高裁

決定をもって、オウム真理教事件の裁判はすべて終結するが、これまでのオウム真理教事件裁判でも、少なくとも数の元信者が、教団や事件への心の内を語ることはあったが、高橋克也自身にも、人間が本来持っている「心の言葉」を最後には口にしてもらいたい。裁判所の役割は、事件の解明と判決をくだすことにあるが、今回の裁判は、被害者・被害者遺族のためにも、さらに高橋克也自身のこの「心の言葉」を導き出すことに力を注いでもらいたい。その努力が、再びオウム真理教のような組織を、この国に産ませないことにも繋がるのではないかと。

次の発行予定は12月13日(火)です。

### 世田谷区主催 オウム真理教問題講演会 — オウム真理教問題を風化させない —

日時: **12月7日(水)**  
時間: 15:30~17:00  
場所: **玉川区民会館ホール**

※事前の申し込みは不要です。当日直接会場へ。手話通訳あり。

講師 **永井 力氏**  
(元警視庁公安第一課長、組織犯罪対策部参事官)

講師略歴  
昭和24年 山形県生まれ  
昭和42年 警視庁警察官 拝命  
平成7年~16年 主にオウム真理教事件など組織犯罪を捜査、指揮  
平成20年 警視庁退職  
平成24年~現在 警視庁シニアアドバイザーとしてオウム真理教事件の教訓などを現職警察職員に伝承



## 監視小屋だより

オウム真理教への監視活動は地域住民の皆さまの協力により、今日に至っています。現在は39団体（町会・自治会、小・中学校PTA、青少年地区委員会、商店会）の皆さんが年間のローテーションを組み、信者たちの動向を日誌に記録しています。

### 〈日誌より抜粋〉

- ・11時頃2階に向かって左端の部屋に宅配便が荷物を届けた様子。同じく11時頃この2階の住人が帽子をかぶり出かける（27/10/18）
- ・公安の方から、本日立入り検査があると説明があった。調査は201号室206号室の出入りを繰り返して、男性2名と上祐（と思われる）が、それらの部屋への出入り数回。10時45分女性が買い物袋を2つを持ち帰宅。206号室に入った。（27/11/5）
- ・11時頃に1階から2階の右端の部屋から左端の部屋に移動。ふすまの大きさ位の板を抱えた人が何回か移動。（27/12/27）
- ・監視されることを楽しんでいると言うより、小馬鹿にしている様な表情で見ている男性。（28/4/12）
- ・久しぶりの監視当番です。公安や警察の姿が少なくなっていてびっくりする。警察の詰所入口の様子を聞くと、信者が少なくなったので、警察官の人数も少なくなったと言われた。今日は上祐もいないので我々が見ているから監視小屋でと言われる。（28/4/21）

- ・10時40分頃白いパーカーを着た人、ピンクのジャージ姿、白の上下を着た人達が昼食を持って左端の部屋に入った。今日は休日なので人が多く来そうだと警察の人が言っていた。（28/4/29）
- ・所定の場所に座ろうとしたら警察の人に止められた。監視場所の用紙を見せて話しをするが、大阪のセミナーにいき誰もいないので、監視小屋にいるように言われた。「他の住民を監視することになるので」と言われた。（28/8/8）
- ・お祭りで警察の車がたくさん来ています。上祐と女性が2階通路を歩き来して、下を見ていた。その後気になったのか、下の道路に降りてきた。その後上祐が3人の女性を連れて駅の方へ出かけた。帰ってきて、上祐と女性が道路を行ったり来たりし、監視小屋まで見に来た。（28/9/23）

監視活動は住民協議会の中心となる活動です。最近では上祐率いる「ひかりの輪」の信者数名が居住するに至り、施設への出入りは減少しています。表向きは静かとなりましたが、上祐は地方での信者獲得に余念がありません。多くの犠牲者を出したテロ集団です。オウム真理教が宗教団体として存在する限り私達は安心できません。

住民協議会はオウム真理教との闘いをこれからも続けていきます。地域住民の皆さまのご協力をお願いします。

## 募金にご協力 7月~10月 ありがとうございました。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| ・芦花公園駅前盆踊り大会 4,826円 | ・からすやま夏まつり 15,865円     |
| ・給田納涼盆踊り大会 21,105円  | ・お笑い夏まつり16 15,855円     |
| ・八幡山町会納涼まつり 21,264円 | ・第32回夏休み親子木工まつり 4,000円 |
| ・鳥山神社秋まつり 8,474円    | ・鳥山区民センター文化祭 12,383円   |
| ・第25回自由広場 11,264円   |                        |

## 蘆花まつり会場でのPR活動

おだやかな秋日和10月23日第4回蘆花まつりが開催されました。

都立公園であることで、募金活動が出来ない中で住民協議会のPR活動を行う事になって2年目。テーブルを店に見立ててハンカチ、タオル、小銭入れ、ペンケースそしてアクセサリーの数々を並べて、掘り出し市を行いました。

募金箱がないので趣旨を説明して、品物を買っていただくと、募金の代わりにと余分にお金を渡して下さる人が多く、私たちもありがとうございますと声が弾みます。

大勢の人で賑わう公園の中は、鳥山のからびよんが、子ど

もたちの笑顔が誘っていました。

そんな子どもたちも小さなおさいふから、10円玉を出して小物を買ってくれるので、思わず私たちも笑顔でありがとうございますと来てねと言ってしまうました。

有意義なPR活動の一日となりました。秋まつりも終盤、来週は鳥山コミュニティまつりでの募金活動です。



## 住民協議会活動報告

- 10月15・16日（土・日）鳥山区民センター文化祭で募金活動
- 10月17日（月）住民協議会
- 10月23日（日）蘆花まつりでPR活動
- 10月24日（月）協議会ニュース160号編集会議（初校正）

- 10月30日（日）鳥山コミュニティまつりで募金活動
- 10月31日（月）協議会ニュース160号編集会議（再校正）
- 11月5日（土）上北沢区民センター文化祭で募金活動
- 11月8日（火）協議会ニュース160号発行

協議会ホームページアドレス <http://www.kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。